

3-11 金華山島生態系保護保全対策事業

事業目的

金華山島は、県指定鳥獣保護区特別保護地区となっており、ニホンジカやニホンザルなどのほ乳類や小鳥類が多く生息・越冬したり、イヌワシが周年観察されるなど季節的に多様な鳥類相が確認されているほか、樹齢数百年のブナやモミの原生林など、学術的にも、生物多様性の観点においても、貴重な自然環境が残されています。

しかし、島の生態系や森林機能の根幹をなすブナやイヌシデの稚樹がニホンジカに採食され、天然更新がなされず草原化が進んでいることから、防鹿柵の維持・補修及び植生の確認を行い、島内の生物多様性の保全を図ります。

事業効果

CO2削減効果	—
その他(防鹿柵の維持延長)	400 m

事業内容

平成29年度事業費 1,000千円

既設防鹿柵の補修点検作業及び
現地調査等

- 施設の点検を実施
- 施設の維持管理を実施



金華山島全景

現状



防鹿柵ネットの補修が必要な状況



防鹿柵設置後、植生が回復した状況



税導入後のイメージ



ネットの補修状況



植生回復区域の防鹿柵ネット撤去